



いまいは今
vol. 270

発行 今井町並み保存会
発行日 令和4年12月1日
電話 0744-22-1128
<http://www3.kcn.ne.jp/~imaicho/>
e-mail imaicho@m3.kcn.ne.jp

◇ご意見・ご感想は
今井景観支援センターまで

だんじり、曳こうぜ!

令和4年11月6日(日)今井町の地車2台、十市町の地車2台が今井町の町中を勇壮に曳行されました。

このイベントは檀原市、今井町自治会、十市町自治会が中心となった『檀原市指定民俗文化財(令和3年2月指定)「十市の地車、今井の地車」保存継実行委員会』によって実施されたもので、今年、修理された地車を次代を担う市内の子どもたちにも親しんでもらおうと企画されました。

快晴の日曜日、今井町の子ども太鼓、十市の伊勢音頭に見送られ4台の地車が出発。今年、修復が終わった稱念寺の前を過ぎ、小学校前を通りおよそ1時間、参加した子どもたちは地車に乗り、引き綱を引き、秋祭りの雰囲気を楽しんでいました。

今井町は子どもたちが地車に乗りますが、それは昔からのようです。『今井町史』では「十月二十四日の宵宮には、各町7台のダンジリに稚児を乗せて境内に引きこみ、

今井西環濠広場に4台勢揃い



いわゆるダンジリの衣装そろえをする」。また「これを見るために近在から大勢の見物衆が集り、昔はオトコシ(男子)・デツチ(丁稚)などに提灯をもたせ、一張羅の服装で詣ったものである。二十五日の祭当日は、各町その領内でダンジリをひきまわす。少しでも他町に入り込まうものならばしばしば祭りにつきものの喧嘩が起ったものである」とあります。

結果として「この祭礼行事も年とともに華美に流れる傾向があったので、領主からは度々禁令が出されて、その緊縮が命ぜられたし、遂には高取藩から壇尻の出向が禁止されたほどである」(『今井町史』「今西家文書」となったのです。逆に今井の活気(財力)のすごさを知ることができると考えます。

民衆が支えているこの熱さを後世に継いでいきたいと思えます。

消防団が今井小学校へ出動!!

ー小学3年生向けに社会科学習ー

11月11日10時30分から今井小学校体育館において、檀原市消防団第9分団(大村眞司分団長他4人)と女性団員だけで構成された第10分団(川端眞奈美分団長他4人)が、小学3年生を対象に消防団の歴史や役割・活動内容について話をし、つづいて女性消防団員達の手作りの紙芝居で火災の恐ろしさを説明し、生徒達からの質問に答えていました。

11時30分からは、校庭に出て消火器の使用方法について学び、水消火器で全生徒が実施訓練を行い、その後は消防車の詳しい見学と消防団員による放水訓練も見学して、火災など災害に対して自分達はどう対処すべきかを学びました。

体育館で紙芝居



校庭で放水訓練



